

東洋大学大学院インド哲学仏教学専攻

平成 25 年度秋学期院生研究発表会のお知らせ

インド哲学科研究室、インド哲学仏教学専攻院生会による定例の研究発表会を下記の要領で開催いたします。公開で行いますので聴講は自由です。どなた様もふるってご参加下さい。

記

1. 日時：2013 年 11 月 27 日（水）14 時 30 分～18 時 00 分
2. 場所：東洋大学白山キャンパス 5 号館 3 階 5310 教室
3. プログラム：

14:30～14:35	開会の辞：渡辺章悟文学部教授
14:35～15:00	堤博枝（M2） 「Alice Boner によるヒンドゥー教美術の解釈について」
15:00～15:25	尾上海（M2） 「ヒンドゥー・ナショナリズム研究—アヨーディヤー問題を中心に—」
15:25～15:50	板敷真純（M2） 「存覚と東国門徒の研究」
15:50～16:15	尾上正和（M2） 『弁頭密二教論』と『釈摩訶衍論』 ——五種言説と如義言説の問題を中心に——
16:15～16:30	休憩
16:30～16:55	藤井明（M2） 『降三世大儀軌』（ <i>Trailokyavijayamahākālpārāja</i> ）に於ける 降伏思想の研究」
16:55～17:20	井みお（M2） 「チベット語訳正法念処經における活地獄について」
17:20～17:45	山崎一穂（日本学術振興会特別研究員） 「 <i>Caṅḍīsataka</i> における <i>alaṃkāra</i> について— <i>śabdaśleṣa</i> を中心に—」
17:45～18:00	講評、閉会の辞：宮本久義文学部教授